

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。
最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。
(こちらに掲載している内容は、2020年5月現在の内容です)

適用病害虫と使用方法

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	総使用回数※	使用方法
果樹類	アブラムシ類、ハダニ類、うどんこ病	原液	収穫前日まで	-	散布
野菜類、豆類(種実)、いも類	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、うどんこ病				
とうもろこし	ムギクビレアブラムシ				
ごま	アブラムシ類				
花き類・観葉植物	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、うどんこ病		発生初期		

効果・薬害等の注意

- 凍結した場合、解凍後、白濁することがあるが、その場合はよく振り混ぜてから使用する。
- 散布液が直接害虫にかからないと効果がないため、葉の表裏の害虫にむらなく薬液がかかるよう丁寧に散布する。
- 害虫の卵には効果がなく、残効も短いため、夏期高温時など害虫の増殖や外部からの飛び込みが活発なときには、5～7日間隔の連続散布や他剤との輪番で使用する。
- いちごに使用する場合、高温時の使用は避ける(薬害)。
- 使用に当たっては、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意する。
- カーネーションに使用する場合、茎葉のワックス層が溶け、白っぽい茎葉が濃緑色になる等の薬害を生じる場合があるので、初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用する。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)